

東京都 横網町公園

この公園は「横網町公園」という名のほか「被服廠跡」「東京都慰霊堂」「東京都復興記念館」とも呼ばれています。そのいずれもが、この公園の歴史を物語っています。大正11年(1922年)、東京市は陸軍被服廠の移転に伴い、跡地を買収し公園の造成を進めていました。その最中に発生したのが、翌12年9月1日の関東大震災、その時この界隈の人々が被服廠跡に避難しましたが、運び込まれた家財道具に飛火し、折からの風速17メートルの強風に燃え広がり、多数の焼死者が出ました。遭難者の霊を供養し、さらに東京を復興させた大事業を記念するため、公園内に慰霊堂と復興記念館を建てました。その後、東京大空襲の犠牲者である一般被災者の霊も安置することになりました。

東京都横網町公園

開園年月日：昭和5年9月1日
開園面積：19,579.53㎡
催し物：慰霊法要(毎年3月10日と9月1日)
所在地：墨田区横網二丁目3番25号
交通：JR両国駅西口下車徒歩10分
都営地下鉄大江戸線A1出口下車徒歩2分
問い合わせ先：都立横網町公園管理所
Tel.03-3622-1208
発行：公益財団法人 東京都慰霊協会
Tel.03-3623-1200
URL：<http://www.tokyoireikyukai.or.jp/>



東京都慰霊堂



関東大震災による遭難者約58,000人の遺骨を納めるために、昭和5年に建てられたものです。東京大空襲(昭和20年3月10日)などによる殉難者の遺骨もあわせて、現在約163,000体の遺骨が安置されています。



慰霊堂



復興記念館



復興記念館展示場

関東大震災の惨事を長く後世に伝え、また焦土を復興させた当時の大事業を記念するため、昭和6年に建設されました。館内には震災及び戦災の記念遺品、当時の状況を伝える絵画、写真、図表などが展示されています。

- 入館料：無料
(午前9時から午後4時30分)
- 休館日：月曜日及び年末年始

東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



東京地下72h 地震発生後72時間の生存力をつける、体験学習ツアー
タブレット端末を使って「防災クイズ」に挑戦、「AR体験」で危険箇所を確認
音響・照明・映像により余震が繰り返されるシオラマの中を、タブレット端末を使ったクイズで注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。街の映画館では首都直下地震の再現CG映像を上映しています。

ご利用案内

- 【東京臨海広域防災公園】
 - 開園時間 午前6時～午後8時(12/31～1/1 休園)
 - 入園料 無料
- 【そなエリア東京】～防災体験学習施設～
 - 利用時間 午前9時30分～午後5時
(入場は午後4時30分まで)
 - 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)
※年末年始及び臨時休館日があります
 - 入場料 無料

【ご利用に関するお問合せ】
東京臨海広域防災公園 管理センター
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
TEL: 03-3529-2180 FAX: 03-3529-2188
(運営管理：西武池袋線・NHKアート共同)
URL <http://www.tokyorinkai-koen.jp/>

風俗駅

りんかい線 → 「国際展示場駅」より徒歩約4分
ゆりかもめ → 「有明駅」より徒歩約2分
※当施設に駐車場はございません

交通アクセス



東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。

※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用できません。

平常時には、花と緑があふれる国営公園(6.7ha)と都立公園(6.5ha)が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、休憩・休息の場として広くお客様に使って頂ける公園です。公園外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たりながら、季節感を感じることもできる、心地よい空間です。広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。

